

石見オロチCOREハイスクール・ネットワーク構想 ～いろいろな教科をわかち合う環境からみんなで探究～

事業背景

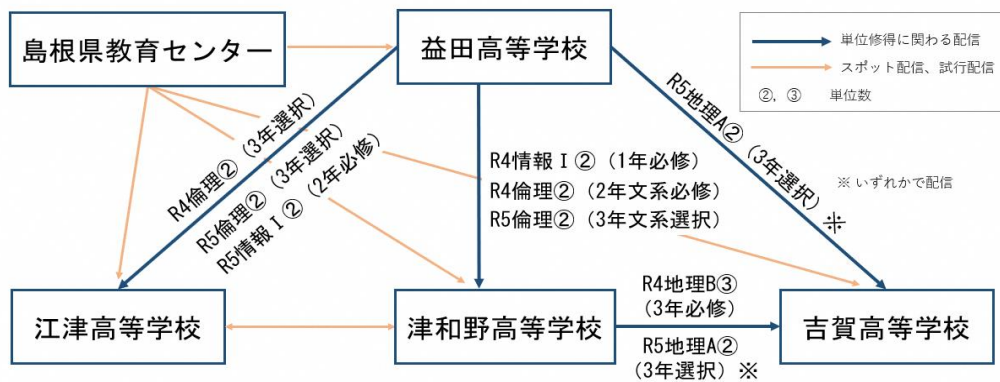
- ・人口が県東部に偏在し、西部（石見地区）は減少
- ・学校内資源の活用や視点の硬直化
- ・西部にある高校は全て中小規模校
- ・西部出身の教員が少なく、異動サイクルが早い
- ・高校魅力化コンソーシアム同士の連携



事業目的 ～夢と絆を育むふるさと創生人の育成～

広い視野から自分の住んでいる地域を見つめ、ふるさに魅力を感じ、地域をよりよくしていくとする生徒の育成を目指すとともに、自らの夢を再確認し挑戦していくとする気持ち、オンラインによる4校間の交流や大学との連携、地域資源の最大活用を通して絆を再確認し深め広げていくことを目指す

遠隔授業配信（予定）

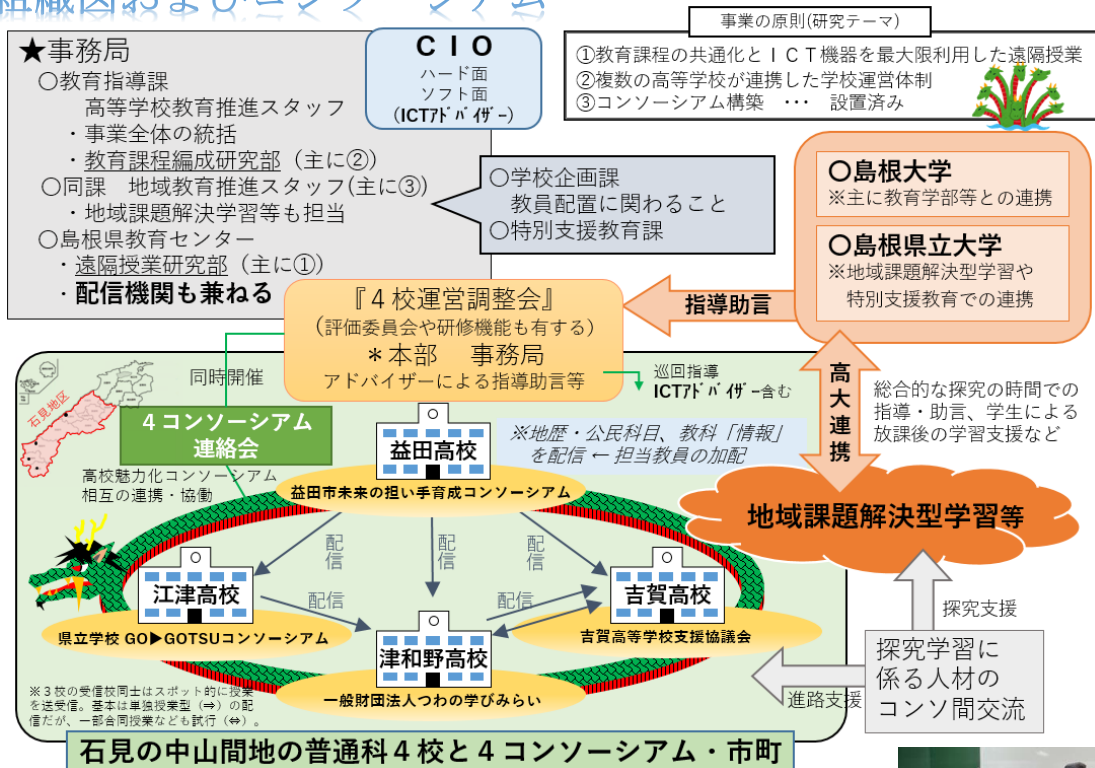


配信拠点

受信校



組織図およびコンソーシアム



成果ならびに課題

- 民生品を組み合わせた遠隔授業実施
- 遠隔授業での主体的・対話的で深い学びの実現と学習評価
- 学校外の教育資源を活用した探究的な学びと発表の場づくり
- 2校間での探究学習発表会実施
- ▲ 生徒の見取りならびに1人1台端末でのWeb会議システム接続
- ▲ 拠点型配信とセンター型配信のメリット・デメリット確認
- ▲ 単独校構築と複数校構築のコンソーシアム間の連携体制
- ▲ 複数校での探究学習の発表の場づくり

「しまね教育魅力化ビジョン」

～ふるさと島根を学びの原点に 未来にはばたく心豊かな人づくり～
の具現化へ

